



Beyond
Next
Ventures

Go Beyond,
Be Brave.





Beyond
Next
Ventures

経営理念

社会課題の解決・科学技術の発展・幸福の追求

ディープテックスタートアップへの出資を通じた社会課題の解決、科学技術の商業化を通じた次世代への資金循環の改善、そして、エコシステムに関わる全ての人々の幸福を追求します。

MISSION

卓越した挑戦者たちと、その先の社会を創る

研究者、起業家、私たちのエコシステムに関わるすべての卓越した挑戦者たちが構想する未来の実現に向けて、世の中の想像を超えるグローバルエコシステムを創っていきます。

2014年法人設立。着実にファンド規模を拡大させ、累計340億円超のファンドを運用しています。ディープテックスタートアップへの出資とエコシステムの構築を通じて、挑戦者を後押しします。

運用総額

340億円超

投資社数

79社

(2023年11月時点)

2015	2月	1号ファンドを設立し、投資開始
2016	8月	ディープテック特化型アクセラレーションプログラム「BRAVE」を開始
	12月	1号ファンドを当初のファンド目標額を上回る約55億円で募集を完了
2017	4月	「INNOVATION LEADERS PROGRAM」を開始
	10月	VC業界では初の有料職業紹介事業の許認可を取得
2018	6月	創薬バイオに特化したアクセラレーションプログラム「Blockbuster TOKYO」を開始
	10月	2号ファンドを設立、投資開始
2019	2月	シェアラボ「Beyond BioLAB TOKYO」を東京の日本橋に開設
	6月	インド・ベンガルールのインキュベーターC-CAMPとの業務提携
2020	1月	インド・ベンガルールに子会社「Beyond Next Ventures India Pvt. Ltd.」を設立
	7月	起業家と投資家向けのシェアスペース「B-PORT」を開設
2021	12月	2号ファンドを当初のファンド目標額を上回る約165億円で募集を完了
	2月	日本初、研究領域における起業家とVCの共同創業プログラム「APOLLO」を開始
2022	2月	INNOVATION LEADERS PROGRAMが第3回オープンイノベーション大賞 文部科学大臣賞を受賞
	9月	パートナーを4名体制に強化（伊藤、植波、橋爪、有馬）
2023	3月	3号ファンドを設立、投資開始



Tsuyoshi Ito
伊藤 毅

代表取締役社長 / Managing Partner

- 2003年4月 ジャフコ入社。産学連携投資グループ責任者として、Spiberやサイバーダイナなど多くの大学発ベンチャーの事業化支援・投資活動をリード。
- 2014年8月 当社を創業。創業期からの支援に加え、成長を底上げするエコシステムの構築に従事。
- 出資先の複数の社外取締役および名古屋大学客員准教授・広島大学客員教授を兼務。内閣府・各省庁のスタートアップ関連委員メンバーや審査員等を歴任。
- 東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻修了



Kengo Ueha
植波 剣吾

代表取締役 / General Partner

- 2003年4月 ジャフコ入社。投資部、資金部、管理部など、投資のみならず、ファンド組成・管理や法務等、幅広い業務を経験。
- 2015年3月 当社参画、取締役就任。ファンド管理及びコーポレート業務全般を統括しつつ、投資も担当。
- 2023年10月 当社代表取締役就任
- 当社における投資先のIPO実績としては、QDレーザ（2021年2月）や、シード段階から伴走したサスメド（2021年12月）がある。
- 中央大学法学部卒業



Shota Sagiyama
鷺山 昌多

執行役員 / Talent Partner

- 2002年4月 クイック入社。ネット事業会社に出向し、新規サービスを担当。
- 2007年2月 東京海上日動キャリアサービス入社。人材紹介部門にて、大学発ベンチャーの人材支援を立ち上げる。
- 2017年1月 当社参画。ディープテックスタートアップの共同創業者やCXOの発掘/育成を担当。過去の育成人数はのべ400名を超え、多くの経営人材を輩出。
- CDA (Career Development Advisor)、キャリアコンサルタント (国家資格)



Katsuya Hashizume
橋爪 克弥

執行役員 / Partner

- 2010年4月 ジャフコ入社。産学連携投資グループ責任者、JST START代表事業プロモーターを歴任。ヘルスケア分野を中心に技術シーズの事業化・投資に従事。
- 2020年4月 当社参画。医療機器・デジタルヘルス領域のスタートアップへの出資を手掛ける。また、投資先企業のコミュニティ運営を統括。
- 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了

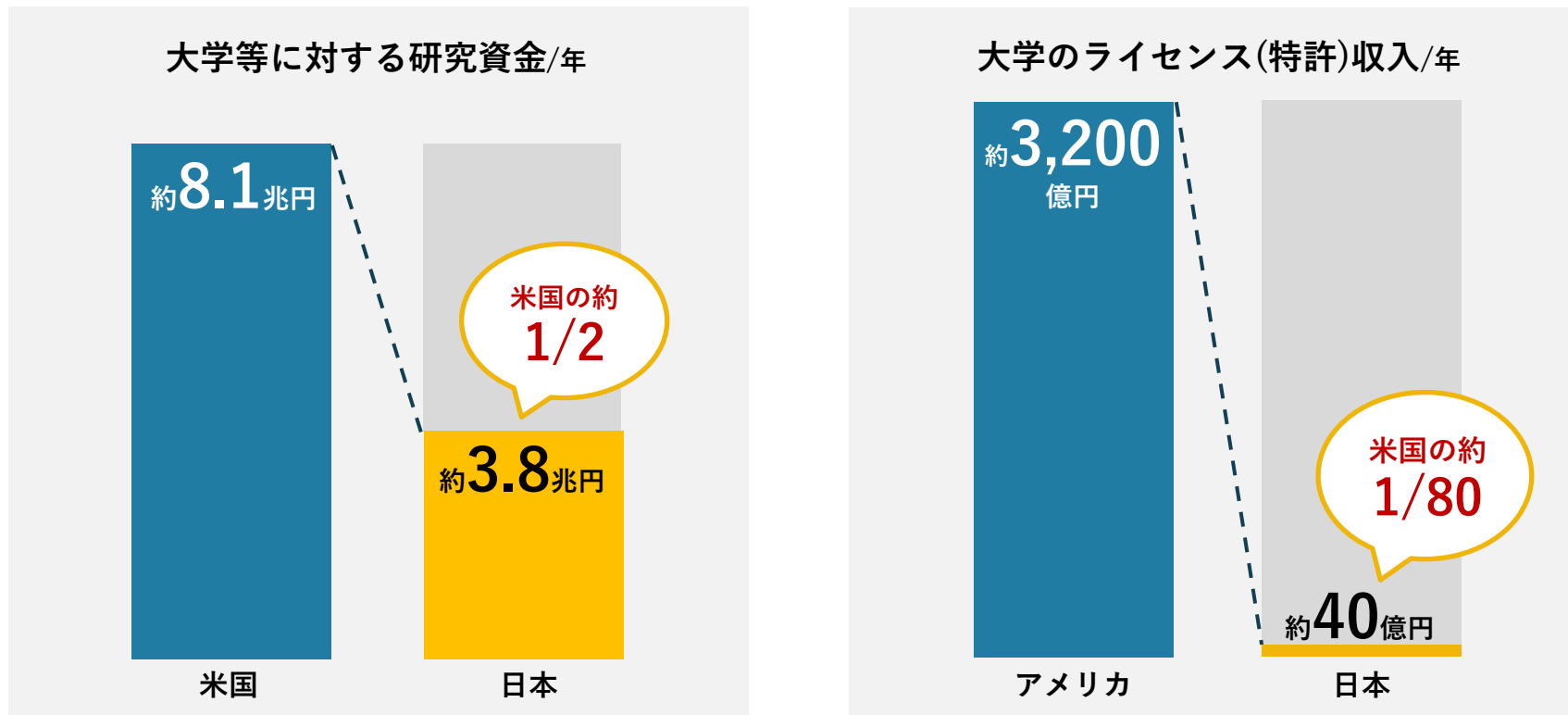


Akito Arima
有馬 暁澄

Partner

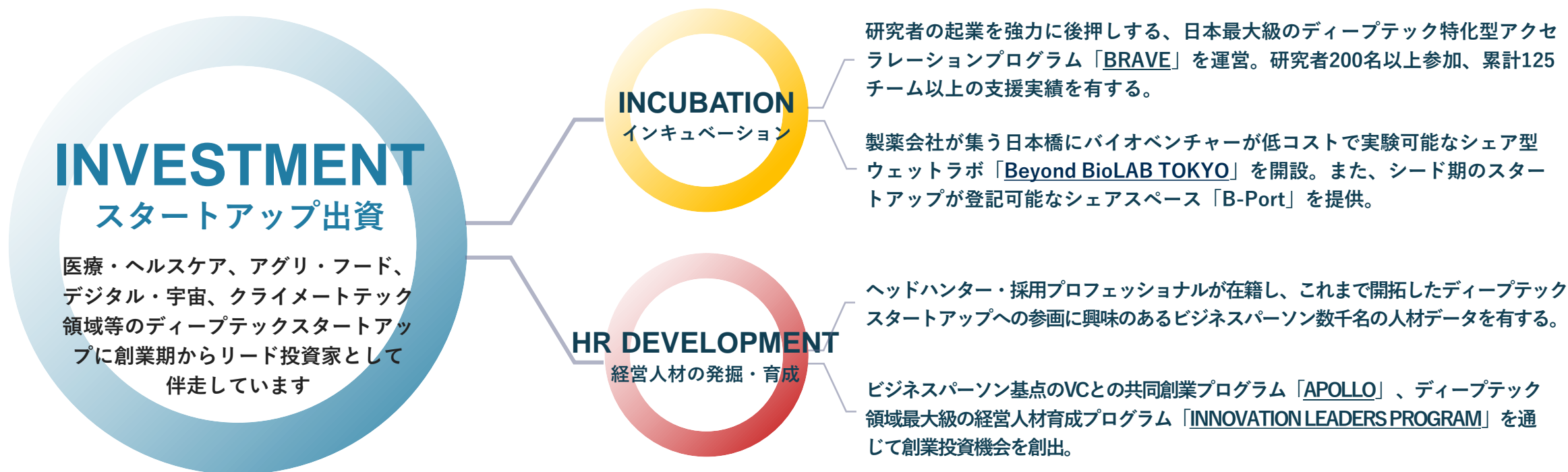
- 2017年4月 丸紅入社。穀物本部にて生産から販売まで携わる。また、有志でスタートアップ投資チームを立ち上げる。
- 2019年 当社参画。アグリ・フード領域のスタートアップへの出資・伴走支援に従事。また、農林水産省や大企業と積極的に連携し、多数の産学官連携プロジェクトにも取り組む。
- 慶應義塾大学理工学部生命情報学科卒業

大学等で長年研究されてきた革新的な科学技術への投資とその商業化を実現することで、世界のあらゆる社会課題を起業家と共に解決すると同時に、次世代の科学技術への資金循環を促し、科学技術の発展にも貢献します。



出典：令和4年度「科学技術要覧」、AUTM's STATT survey および文部科学省「令和3年度大学等における産学連携等実施状況について」より

ディープテックスタートアップへの継続的な資金提供を起点に、大学発スタートアップが育ちやすい環境（エコシステム）の構築を目指し、研究成果の事業化支援、シェアラボの運営、経営人材の育成まで幅広く活動しています



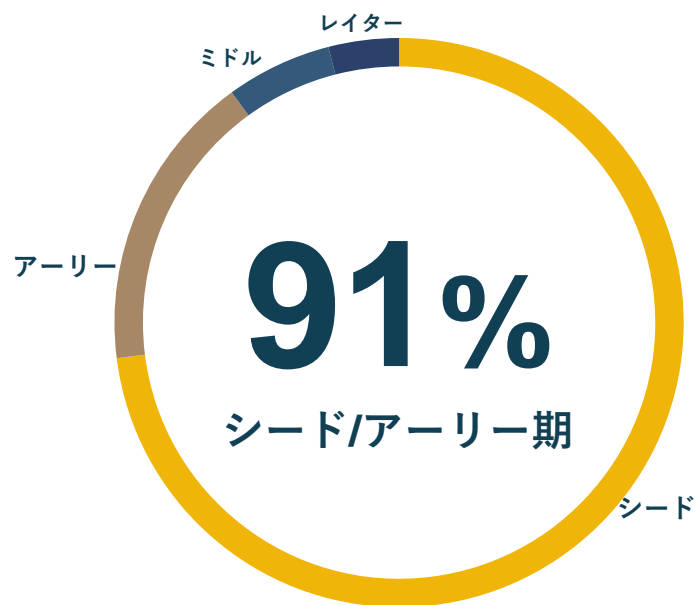
INVESTMENT

スタートアップ出資

INCUBATION
インキュベーション

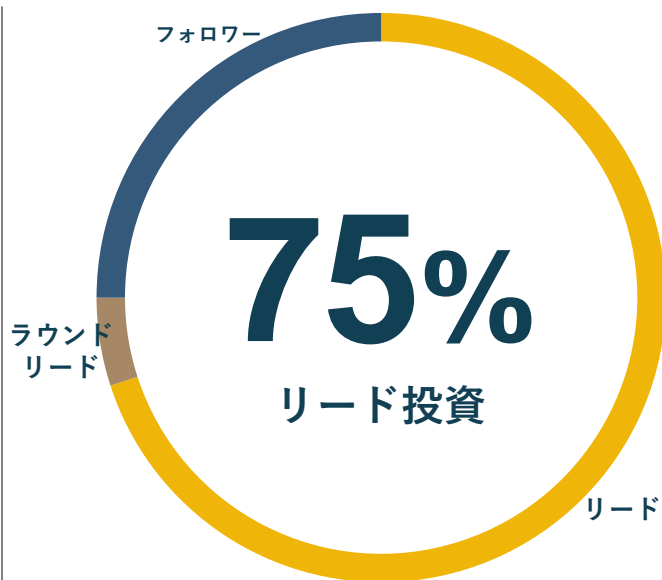
HR DEVELOPMENT
経営人材の発掘・育成

出資先企業に創業初期の段階から関わり、リード投資家として長期的な伴走支援を行っています。



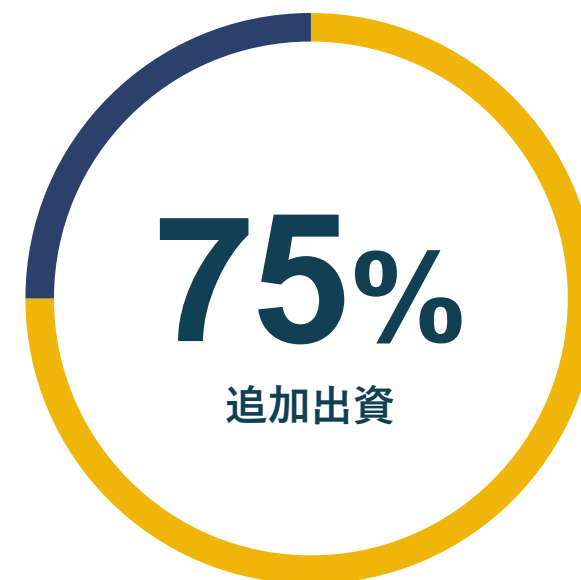
初回出資時のステージ

(2023年10月時点)



リード投資家率

(2023年10月時点)



フォローオン投資率

※当社リード出資先における
※2023年以降に初回投資した企業は除く
(2023年10月時点)

医療・ヘルスケアを中心に、アグリ・フード、AI/IT、エレクトロニクス、デジタル・宇宙、クライメートテックなど様々な領域に投資を実行しています。

領域		国内投資先											
医療・ヘルスケア	医療機器/デバイス												
	AI/IT												
	デジタルヘルス												
	創薬/バイオ												
アグリ・フード													
エレクトロニクス													
デジタル / 宇宙													
クライメートテック													

2023年10月時点

2023年に設立した3号ファンドは、従来のファンドより期限を長く設定し、また、1社への最大累積投資額を従来の約3倍に引き上げました。これにより、出資先企業のシードからグロースフェーズまでファイナンスを牽引します。

ファンドサイズ	200～250億円（予定）
設立日	2023年3月
最大累積投資額	約20億円/社
初回出資金額	約1億円～
運用期間	11年（+3年の延長）
ファンドコンセプト	革新的なサイエンス/テクノロジーにより、地球規模の社会課題を解決する
対象地域	日本発
投資ステージ	シードからグロースフェーズまで
対象分野	<ul style="list-style-type: none">医療・ヘルスケア創薬・バイオアグリ・フードデジタル・宇宙クライメートテック



医療・ヘルスケア

デジタルヘルス
超小型・モバイル医療機器
遠隔医療、デジタルホスピタル



創薬・バイオ

ゲノム編集技術
マイクロバイオーム
再生・細胞医療・遺伝子治療



アグリ・フード

代替タンパク質
新規農業資材
スマートアグリ



デジタル・宇宙

半導体、AI
ロボット、メタバース
量子コンピューティング
宇宙



クライメートテック

電池
次世代エネルギー
カーボンニュートラル

INCUBATION

インキュベーション

INVESTMENT

スタートアップ出資

HR DEVELOPMENT

経営人材の発掘・育成

「チャレンジする全ての人の踏み出す一歩を後押ししたい」「少しでも多く、有望な技術シーズをもつ研究チームと共に社会実装を実現したい」そんな強い想いで、BRAVEは2016年にスタートしました。



Break new ground

Revolutionize your idea

Accelerate technological progress

Venture to be extraordinary

Empower your team



計10回の開催を通じて、全国の大学・研究機関の研究シーズを有する160チームの事業化を支援。50社以上が卒業後に起業を実現し、卒業生の累計資金調達額は500億円を超えています。



(2023年12月時点の実績値)

2016 Winter	2017 Spring/Winter	2018 Summer	2019	2020	2021 Spring/Autumn	2022	2023
							
19 採択	36(15/21) 採択	19 採択	15 採択	13 採択	18 採択	5 採択 / 45 支援	35 採択

※当社が主導的な立場で運営した全てのアクセラレーションプログラムにおける合計数

研究領域最大の共同創業・経営人材育成プログラム。創業を目指す研究チームと創業参画志向のビジネスパーソンの創業準備体験をプログラムとして提供。卒業生からは50名以上が経営人材として活躍。

研究領域最大級。卒業生500名のうち50名以上が
ディープテック・スタートアップ経営陣として活躍



参加OB・OGのスタートアップCXOを対象とした
ILP CXO SUMMIT (第2回目) (2023年8月実施)

創業・準創業参画



ファーマランタ株式会社
石川県立大発 / バイオ
CEO 柘崎氏



ソニア・セラピューティクス株式会社
東京女子医・東北大等発 / 医療機器
CEO 佐藤氏



株式会社 Finger Vision
東北大発 / ロボティクス
CEO 濃野氏



サグリ株式会社
岐阜大等発 / 衛星データ
COO 益田氏



株式会社OPEX PARK
カーブアウト / 医療データ
CEO 本田氏




Veneno Technologies株式会社
産総研発 / 創薬
COO 平良氏



優れたビジネスリーダーと共に事業構想フェーズから創業を目指す。ディープテック領域特化のスタートアップ伴走型創業プログラム。事業ブラッシュアップに留まらず、事業に必要な研究シーズ探索も支援。

起業を目指す
ビジネスパーソン
(起業家候補)



専門領域の
キャピタリスト





Beyond
Next
Ventures

創業に向けて、事業の中核となる
シーズ発掘及び連携支援。

創業時のリード投資家として、
事業構想フェーズから伴走。

————— BNVの創業リソース —————

 創業資金 成長資金	 事業に必要な 技術シーズの サーチ・目利き
 大学・病院等との アライアンス	 領域専門家の アドバイス

①中澤氏と「ALY」を創業



② 細谷氏・石崎氏 × 東京海洋大学吉崎教授らと「さかなドリーム」を創業



SAKANA Dream

約 **1.9** 億円

シードラウンド 資金調達実施

衛星データと当社投資領域の親和性

複合領域の掛け算による新しいビジネスケース及びスタートアップ創出を標榜

想定される掛け算の例

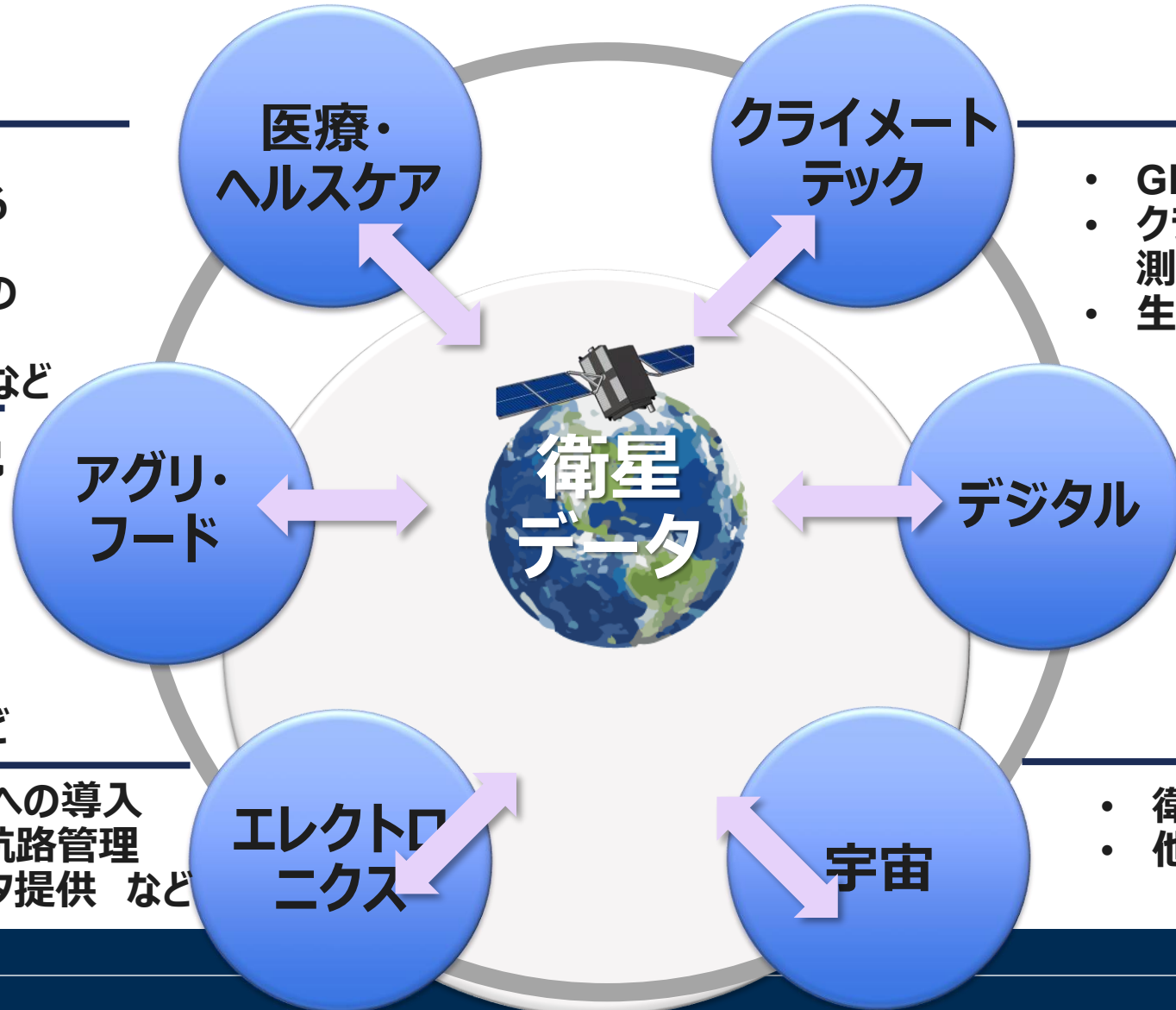
- 保健医療データと衛星データの統合分析による疾患リスク分析
- パンデミック・特性疾病の地域特性分析

など

- 農地の適切な土壌状況の把握
- 農業R&Dの成果パフォーマンスの分析
- 海洋の微生物の分布データ活用

など

- 先端センサ技術の衛星への導入
- 自動運転やドローンの航路管理
- AIへ衛星から教師データ提供 など



- GHGモニタリング
- クライメート技術導入の効果測定
- 生物多様性の状況把握

など

- プライバシーデータとしての衛星データ応用
- マイクロファイナンス分析
- チャットボットAIへの地図や衛星データ読み込み

など

- 衛星領域への投資
- 他の宇宙領域との掛け算